

# びろっぱ

Vol.439 2



## 医療情報

- 凍結生体組織検体採取  
〈クライオバイオプシー〉  
表紙の写真
- 循環器内科 筆頭部長交代

## VHJ職員交流研修会 参加報告

近森病院開設76周年  
記憶と記録に残る記念日





～肺疾患の新しい診断検査～

# 凍結生体組織検体採取 〈クライオバイオプシー〉



組織を凍結して採取する「クライオバイオプシー」を高知初導入しました。肺疾患における新しい検査方法で、従来の鉗子より生体をきれいに、また大きく採取でき、診断率の向上が期待されます。

## 従来の鉗子生検の5倍程度の検体採取が可能に

2022年12月15日に当院で初回となるクライオバイオプシーを施行しました。クライオバイオプシーは気管支内視鏡から先端部を冷却することのできるプローブを病変に接触させることで周囲の組織を凍結して採取する新しい生検方法で、2017年3月に保険適用となりました。従来は鉗子を用いて生検をおこなっていましたが、採取できる検体のサイズが小さいことや、採取できた検体も挫滅(※)による修飾が強いことなどが正しい診断の妨げとなっていました。

※挫滅…衝撃や圧迫などで、内部の組織が破壊されること。

近森病院 呼吸器内科・  
感染症内科 部長

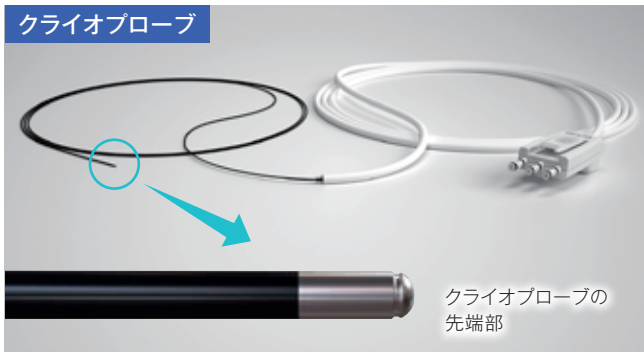
中岡 大士

なかおか ひろし

挫滅の少ない大きな検体の採取で

診断能力を向上させます

クライオプローブ



クライオプローブの  
先端部

クライオプローブで  
凍らせて採取した場合

検体サイズ／5～15mm

挫滅が少ない

鉗子で挟みこんで  
採取した場合

検体サイズ／1～3mm

挫滅が多い

## 5秒の冷却から剥離採取、 止血確認までを一息に ～確かな技術とチームワークで～

手技は、まず気管チューブを気管内に挿入します。気管チューブを通して、バルーンカテーテルを採取する部位近傍の気管支に留置して、生検後の止血に備えます。事前に同定していた病変部位にクライオプローブを当て、5秒程フットスイッチで冷却させるとプローブ周囲の組織が氷塊となるため、その後すばやい動作で気管支内視鏡とプローブを一体にして引き抜くように

剥離採取します。主な合併症は、中等度以上の出血と気胸です。採取直後は前述のバルーンを膨らませてしっかり止血します。

◀ 冷却中のプローブ先端、  
白く霜が見える。

▶ 中岡医師の後方でプローブを保持する藤原絵理医師、右端が亀田総合病院の伊藤博之先生で、剥離採取後、すぐに交代して止血のバルーンを確認できるよう気管支内視鏡を持っている。

◀ 内視鏡画像を見ながら  
プローブを操る中岡医師。

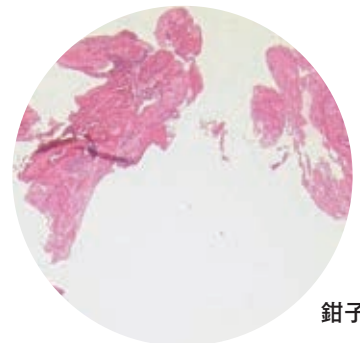




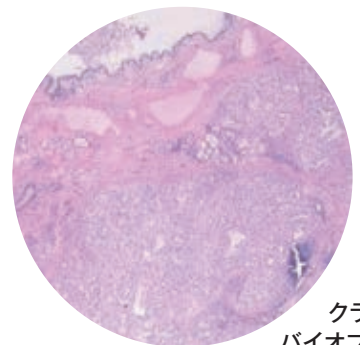
▼内視鏡室内で、採取後すぐ顕微鏡で検体を確認している臨床検査技師 橋副技師長。



病理組織標本の比較（アムコ社より提供）



鉗子生検



クライオバイオプシー

## 高知県初、四国では2番目に導入

クライオバイオプシーの利点は広く認識

され、鉗子生検と外科的肺生検との中間的な位置付けとされています。悪性腫瘍や間質性肺炎の診断率が向上するほか、末梢病変のみでなく中枢気道の可視病変の生検や異物除去などの治療的介入も良い適応とされています。

使用機器は冷凍装置、専用クライオプローブ、医療用CO<sub>2</sub>ボンベ、バルーンカテーテル、などを取り揃える必要があり、確かな内視鏡技術と経験をもつ複数の医師でおこなう体制づくりやコストとの兼ね合いから普及は遅れていますが、当院は高知県初、四国では2番目に導入した施設となりました。今回は経験豊富な亀田総合病院から伊藤博之先生をお招きして1例目をサポートして頂き合併症を生じることなく実施できました。

安全面に十分に配慮しながらクライオバイオプシーに適する症例での実績を積み重ね、高知県の呼吸器診療の質向上のため更に貢献できればと思います。



# 筆頭部長交代 ～抱負を語る～

## 循環器内科

今後も「患者さん中心の医療」を

近森病院 循環器内科  
主任部長 關 秀一  
せき しゅういち

交代日／2023年1月1日

【出身大学】高知医科大学（現高知大学）1992年卒業  
【専門分野】循環器内科  
【主に担当する疾患・手技】  
末梢動脈疾患（下肢閉塞性動脈硬化症など）・虚血性疾患  
【認定資格】  
・日本循環器学会・循環器専門医  
・日本内科学会・総合内科専門医・指導医・認定内科医  
・浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会・  
浅大腿動脈ステントグラフト実施医  
・日本心血管インターベンション治療学会・専門医  
・日本老年医学会・老年病専門医・指導医

### 四半世紀を近森で、偉大な先輩からバトンを引き受ける

私は1994年に近森病院で1年間研修後、4年後に再び帰ってきました。その後の四半世紀は近森病院一筋で、カテーテルを用いた血管治療に長年携わってきました。2023年1月1日付けで川井主任部長が院長に就任し、私が循環器内科主任部長を拝命することとなりました。偉大なる先輩方である浜重先生および川井先生から受け継がれてきた循環器内科のバトンを引き受け、非常に身が引き締まる思いです。

### 循環器内科の躍進

近年は心臓の血管治療に加え、不整脈、弁膜症などの心臓の構造異常によって病的状態をきたす構造的疾患、心臓以外の血管病である末梢動脈疾患など、我々の活躍できる分野が増えてきました。近森会の理念でもある「患者さん中心の医療」を今後も提供すべく、個々の患者さんにとって何がベストの治療なのかを常に考え、循環器各分野のスペシャリストをそろえて治療にあたっています。

### 患者さんに最適な高度医療を提供するために ～地域医療連携の推進を～

また、24時間体制で患者さんに最適な高度医療を提供するためには、かかりつけ医の先生を起点とした地域医療連携が欠かせません。断らない診療を実践し、地域の皆様・かかりつけ医の先生方に信頼していただける循環器内科を目指していきます。今後ともよろしく願いいたします。



## 執筆掲載

### 4年ぶりに心不全手帳が 改訂されました!!

近森病院 臨床栄養部 管理栄養士  
片瀬 理美 かたせ さとみ



「お食事で気を  
つけること」の改訂を  
担当しました



日本心不全学会から発行されている心不全手帳をご覧になった事がありますか？心不全手帳とは患者さん自身が心不全に対する意識を深め、セルフケアを定着させるためのツールです。また、患者さんと医療機関や地域スタッフを結ぶ手段として利用されるため、心不全管理の必需品です。

改訂後の第3版は、心不全ステージの明確化、新規心不全治療薬の追加、かかりつけ医や介護施設との連携を強化した内容となっています。

今回私は栄養面での改訂に携わりました。塩分過多になってしまった時の対処法、食事・食材に含まれている塩分量の目安一覧表の改訂、体組成を考慮して低栄養に配慮した内容に改訂しています。

リモート会議で何度も打ち合わせを行う事が大変でしたが、無事完成して安堵しています。患者さんや医療スタッフのお力になれば幸いです。

論文掲載

# 肺炎？ 心不全？

近森病院 循環器内科  
西村 祐希  
にしむら ゆうき



論文名

Unilateral Pulmonary Edema in Patients With Acute Mitral Regurgitation Caused by Chordal Rupture

掲載誌

Circulation Reports  
Circ Rep 2022; 4:  
571-578  
(日本循環器学会発行)



← 閲覧はこちらから

## バタフライシャドウでない影

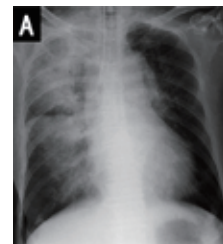
バタフライシャドウ(蝶形陰影)は両側肺門部から肺野中層部にみられる均等影のことで、蝶の形を呈していることからそう呼ばれます。急な呼吸困難に加えてバタフライシャドウがあれば肺水腫を疑いますが、肺水腫のなかでも両側に均等影を呈さないことがあります。急性僧帽弁閉鎖不全症(MR)による肺水腫では、片側(右側)にしか均等影を認めないことがしばしばあり、その特徴についてまとめたものが本研究です。

## 急性MRによる肺水腫も一考を

「で?」というわけですが、実際にレントゲンで片側にしか影がないとき、肺水腫を初めから疑うことは難しく、急性MRによる片側性肺水腫が肺炎と診断されることは少なくありません。急性MRは基本的に手術が必要であり、診断までの時間は短い方が良く、片側性肺水腫をみたときは、急性MRも鑑別診断に挙げてもらえれば、といった研究です。

## 見つけた!

ちょうど、この報告の準備をしていたときに、肺炎疑いとなっていた方のレントゲンで片側性肺水腫を見たとき、聴診器(普段もちろん使っています)とエコーを力強く手に取り、早期診断につながった思い出があります。



## 喜んで

### ～臨床現場に生き、多くの方の役に立つ研究を～

前回の研究がひと区切りついたとき、土居先生から「次、いけますか」と言われ、「Yes」か「はい」か「喜んで」の選択枝から「喜んで」を選びました。形になるまで時間はかかり大変なこともたくさんありますが、土居先生に臨床研究の楽しさを教えて頂きました。自分がやっている研究が臨床現場に生きた時はやはり嬉しく、また多くの方々に役立ててもらえることができるようこれからも頑張りたいと思います。

## 指導医 コメント

学術担当顧問  
土居 義典  
どい よしのり



臨床研究では、研究テーマの着想・設定、研究計画の立案、データの収集・解析、最新の関連文献の確認、まとめ、などのプロセスを段階的に進めていきます。その過程で私たちは多くのことを学びます。情報発信に際しては、学会発表で満足するのではなく、論文と

してまとめ上げる努力を重ねることが大切です。そのことが科学的・論理的思考を育て、さらに医学・医療への貢献にもつながります。

若手医師の意欲と努力が、近森病院からの高いレベルでの学術情報発信につながるようにサポートしていきたいと思っています。

## 学会受賞

第44回 日本肝臓学会東部会 若手セッション  
若手症例報告奨励賞 受賞

演題

成人Still病に対するトシリズマブ投与後に薬物性肝障害をきたした1例

## 今後受賞を狙って

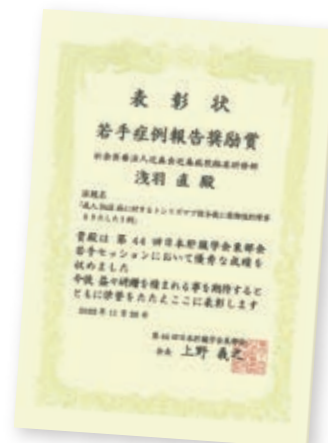
初期研修医2年目 浅羽 直 あさば すなお

この度、第44回日本肝臓学会東部会にて若手症例報告奨励賞を受賞させていただきました。

昨年日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会にて同じ症例で発表をさせていただきましたが、同じ症例でもリウマチ科と消化器内科の双方の見方から考え、アプローチし発表することができたのは大変貴重な経験だと思います。

他の先生方の発表は内容はもちろんのこと、スライドの作り方や発表の仕方なども素晴らしくとても勉強になりました。今後は今回の学会で得た経験をもとに発表していけたらと思います。

今回の発表に関しまして、ご指導頂いた榮枝先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。





## 熱烈応援 昇格人事

### 柔軟な姿勢で

総務部経理課 課長

西森 千景

にしもり ちかげ

この度、経理課長を拝命しました。財務基盤を強化することが、経営の一つの目標ですが、戦争や感染症、またテクノロジーの急速な発展など不確実性が高まっています。先が見通せないことは心配もありますが、挑戦しがいのある時代を生きているとも感じます。変化に対応できるよう柔軟な姿勢で仕事に取り組んでいきたいと思っています。

## いたちごっこ

初期研修医1年目 竹田 有佑

ただ ゆうすけ

こんにちは、先日冬のサウナを体験し魅了されてしまった初期研修医1年目の竹田有佑です。お肌もピチピチになりました。こう見えて、大阪府出身です。高知県は大学からです。食べ物もおいしく、自然豊かな高知県が好きで今もここで働いています。

研修が始まって、早くも9か月が経とうとしています。はじめは、何がわからないかもわからなく不安でいっぱいの日でしたが、徐々に仕事にも慣れてきて、わかることも増えてきてうれしい反面、学んだことを忘れていたり、またわからないことが出てきたり…、といったちごっこの状態ですが、2年目の先輩方や上級医の先生方、他職種の方々からご指導いただき、とても充実した毎日を送らせていただいております。

残り研修期間1年ちょっと、高知県のみなさまのお役に立てるよう、日々携わるみなさまへの感謝の気持ちを忘れずに精一杯頑張ろうと思います。よろしくお願いします！

## ハッスル研修医



## 出張



## VHJ職員交流研修会 参加報告

2022年11月25～26日

看護部 統括看護部長

岡本 充子 おかもと じゅんこ

### 3年振りの現地開催で愛媛県HITO病院へ

第32回VHJ職員交流研修会（主管病院：HITO病院）が久しぶりに対面で開催され、近森病院からは近森理事長はじめ11名が参加しました。1日目のVHJ設立30周年記念講演に始まり、懇親会、2日目の分科会、HITO病院の見学と、対面ならではの交流で刺激をたくさん受けた2日間でした。

### 記念講演 ～現状とあるべき姿のギャップの分析・認識を～

記念講演ではHAKUHODO DESIGN代表取締役社長 永井一史氏からデザイン経営についてお話を伺いました。初めてデザイン経営について聞きましたが、As isとTo beのギャップを埋めていくのがデザインであり、より良くすることだと聞き、デザインに対する認識が変わりました。

### 未来展望を考えた看護管理分科会 ～協同でさらなるパワーアップを～

また、看護管理の分科会では、「経営参画、働き方改革、病院機能分化への対応等」をテーマにグループ討議を行い、多死社会の中での看取り、外来機能の強化や地域との連携を行いながら状況に応じた



病床機能の見直し、医師の働き方改革をきっかけとした改革などについて意見交換を行いました。今後、VHJ看護部会でエビデンスを集積し発信していこう、看護管理者の情報共有を強化していこうという話にまとめ、たくさんのパワーをもらいました。

### 実際にHITO病院を見学して

HITO病院の見学では、Human 1st.の行動規範通りのホスピタリティに溢れた病院であり、DXへの先駆的な取り組みにより効率性が向上するとともに医療の質も向上しており、そのことが対応してくださった職員の活き活きとした様子に表れていると感じました。この2日間得た学びと人とのつながりを今後に活かしていきたいと思っています。





募集

# 近森病院 看護師特定行為研修 受講生募集

願書受付／2023年3月1日(水)～3月20日(月) 17:00必着

受講生、続々活躍中!  
あなたの参加を  
お待ちしております。

| No. | コース名                            |
|-----|---------------------------------|
| I   | 栄養コース                           |
| II  | 創傷コース                           |
| III | 外科系基本コース ※1                     |
| IV  | 麻酔コース ※2                        |
| V   | 集中治療コース ※3                      |
| VI  | 救急コース ※4                        |
| VII | 選択コース                           |
|     | 末梢留置型中心静脈注射用<br>カテーテル管理(PICC)関連 |
|     | 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連              |
|     | 胸腔ドレーン管理関連                      |
|     | 腹腔ドレーン管理関連                      |

さらに詳しく↓



問い合わせ先

社会医療法人近森会 近森病院 看護師特定行為研修事務局  
TEL/088-822-5231(平日8:30～17:00)

※1、※2、※3、※4「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について」に示される「外科系基本領域パッケージ研修」、「術中麻酔管理領域パッケージ研修」、「救急領域パッケージ研修」を指す。但し、※3については「集中治療領域パッケージ研修」に区分別科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を加えたオリジナルのコースとしている。



## ファミリー高知より



しごと・生活サポートセンター ウェーブ

## 第3回文化祭

2022年11月26日



## 高知ハビリ テーリングセンター 餅つき

2023年1月6日





# 近森病院開設 76 周年 記憶と記録に残る記念日

2022年12月23日

2022年12月23日(金)、高知市は1912年の観測以来1位の大雪に! 毎月行っている管理部スタッフ有志による朝の清掃活動は雪かきへと急ぎよ変更! 慌ただしい朝になりました。

## 大雪 &



▲ヘリポートも真っ白に。  
(当日は運航休止)

▶ 週明け12月26日に朝の  
清掃活動は再度集結! 本活  
動も4周年となりました!



## 理事長から 絵画のプレゼント

展示会 2022年12月22~26日

クリスマスに、近森理事長から絵画のプレゼントがありました。これは近森病院で保有するコレクション約200点の作品を希望する職員にドーンとプレゼントする企画です。様々な作品が管理棟第二別館に展示され、スタッフは小さな美術館になったフロアで思い思いに鑑賞したり、プレゼント抽選に申し込んだりして芸術を楽しみました。

抽選に当たった方はラッキーでしたね、近森理事長、ありがとうございました!







大雪当日のお昼は、  
翌12月24日の近森病院開設76周年を記念して、  
職員全員にお鮓がプレゼントされました。

大雪で職人さんのやりくりなど、作る側も大変  
だったようです。でも、とっても嬉しい一日と  
なりました。



お鮓プレゼント

なんと、  
2,144  
食!



## 近森院長退任記念 ～臨時医局会で花束のプレゼント～

1月11日、昨年末の近森正幸理事長の近森病院院長退任を記念し、臨時  
の医局会が開かれ、浜重直久顧問から花束が贈呈されました。また、新しく  
就任した川井新院長、入江副理事長へも、それぞれ近森  
理事長、北村龍彦顧問から花束が贈られ、集まっ  
た医師に抱負をお話しました。







## リレーエッセイ

### 私のフェレット

近森病院 救急科  
飯沼 未来 いいぬま みくる



黒が番長、白が牛若丸  
(2匹ともメスです!)



フェレットを迎えてから3年が過ぎました。

フェレットはイタチ科で想像よりも飼いきやすい動物です。1日20時間位寝ますのでだいたい寝ています。よく聞かれますが、ペットフードを食べます。食道が長く完全肉食で、食べすぎるとすぐおなかを壊します。実は「待て」ができますし、自分の名前も覚える賢い一面もあります。長さはだいたいiPhone2台分くらい、我が家のイタチはかなり小柄なスマートイタチです。

12月高知で雪が積もった日、雪に触れさせましたが全く喜びませんでした。楽しそうに寝て遊んで食べてを繰り返しているイタチをみていつも癒されています。ちなみに名前は番長(3歳半)と牛若丸(0歳)です。牛若丸はいますくすく成長中で、よく飛び跳ねて遊んでいます。



## 私の趣味

### ライブに行けることを 楽しみに待っています

近森リハビリテーション病院  
5階病棟東 看護師

田上 小百合 たがみ さゆり



私の趣味は、ライブに行くことです。特に歌って踊れるアーティストさんが好きで、ジャニーズや、LDH、avex、まだデビュー前のグループなど様々なグループのライブを見てきました。一番応援しているのはHey!Say!JUMPでデビュー当時から15年間応援しています。

ライブは色んな感動を与えてくれ、ライブに行くことを楽しみに仕事も頑張れるし、ライブに行った後は、また明日から頑張ろう!という気持ちにさせてくれるので、とても私の活力になってい



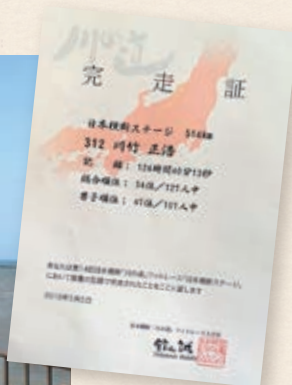
ます。またライブを通してできた全国各地の友達と、ライブツアーの度にその地域を旅行できるのも幸せな時間です。

最近はコロナウイルスの影響であまりライブに行けていないのですが、配信でライブを届けてくれるグループもあり、ライブに行けなくてもライブを楽しむことができます。早くコロナ禍が終息して、また私もライブに行けることを楽しみにしています。

FREE

## 私の〇〇

〇〇にフリーワードを入れて  
語っていただきました



### 私の「走り旅」

近森病院 理学療法科  
理学療法士

川竹 正浩 かわたけ まさひろ



「ジャーニーラン」という言葉を聞いた事がありますか? 文字通り、走りながら旅をするランニングの事で、数日にわたり数百km以上の距離を走る大会が各地で行われています。

10年ほど前に趣味で始めたランニングですが、年々走る距離が伸び室戸岬から足摺岬まで250km走ってみたり、気がつけば東京から新潟まで500kmを走るようになっていました。数日間走っていると全身の疲労や痛みに加え、幻覚が見えたり幻聴が聞こえたりと非日常な体験をしますが、それもまた楽しんでゴールを目指します。走っている最中はキツイ事もありますが、ゴールした時の達成感は格別です。

今後は青森から山口までの1,500kmを走る大会に参加してみたいと思っています。



## 歳時記



### お正月

閉鎖中のイートインスペースに毎年恒例のお正月飾りがお目見えしました。制限が多いコロナ禍ではありますが、ご入院中の方はもちろん、来院された方々に少しでも季節を感じて頂き、安らぎをお届けできていれば幸いです。

▲こちらは近森リハビリテーション病院のお正月花。

## 看護学生の成人式

「子供の頃から夢だった看護師を目指して精進中です。新成人として夢や勉強、バイトに恋愛、遊びなど、素敵な大人の女性になれるように過ごしていきたいと思います。」

ご友人に囲まれ、照れながら写真撮影にご協力いただきました。

近森病院附属看護学校 2年生 ▶  
刈谷 愛夢(かりや あゆ)



晴れ姿！

## 今月のちかもり食

— エームサービス株式会社 —



### クリスマスメニュー

12月24日、夕食ではクリスマスメニューを提供いたしました。

主菜は「フライドチキン」、副菜に「サラダ」と「コーンスープ」、デザートには「イチゴババロア」を提供いたしました。

外は真っ白になり、雪だるまもあちこちに作られていたクリスマスイブ。寒い日でしたがスープで温まっていただけでいいでしょうか。



## 看護学校の献血サポーター登録

近森病院附属看護学校 副学校長 平瀬 節子 ひらせ せつこ

この度、看護学校が献血サポーター参加企業・団体として登録されました。献血サポーターとは医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力する企業団体のことです。高知県でも多くの企業が参加しており、近森病院は既に献血サポーターとして積極的な活動をされています。私たち看護学校も、社会貢献活動のひとつとして学生とともに学校行事の際に献血を企画し、活動できるよう取り組んでいきたいと思っています。これからもご協力お願いいたします。



献血サポーター  
www.ken-sapo.jp

## 診療数 令和4年12月

— 電子カルテ管理課 —

### ● 近森会グループ

外来患者数 ..... 18,820人  
新入院患者数 ..... 995人  
退院患者数 ..... 1,115人

### ● 近森病院(急性期)

平均在院日数 ..... 12.43日  
地域医療支援病院 紹介率 ..... 81.87%  
地域医療支援病院 逆紹介率 ..... 290.32%  
救急車搬入件数 ..... 658件  
うち入院件数 ..... 361件  
手術件数 ..... 594件  
うち手術室実施 ..... 380件  
うち全身麻酔件数 ..... 240件

## 編集室通信

先日、冬靴の手入れをしました。南国高知では、重くて硬くてピシ付きの無用なものです。もう3年も履いて出かけていません。ちょうど筋トレにはいいかもと思って家の周りを歩いて下駄箱に片づけました。来年こそ履いて「北の国へ」出かけたいです。 やまもり



# 竹内 実

Makoto Takeuchi

画像診断部 副技師長  
診療放射線技師

聞き手／ひろっぱ編集部

## 「こだわりすぎない」に 「こだわって」

昨年10月より画像診断部副技師長を任された竹内副技師長。ともに任命された久保副技師長と中村技師長を支える。

「副技師長同士の役割分担は、どちらかがこれ!とは決めていないですね。お互いに得意分野があるので補いあいながら…。あえて言うなら管理系は久保副技師長、自分は教育を担うことが多いと思います」と丁寧かつゆとりを感じる返答が印象的である。

「できる人ができることを」または「ものの決まりごとに執着しすぎない」という考え方を持っており、それは家庭にも活かされている。ERの医師と結婚し19年目を迎え、大学生と中学生の娘さんがいる。二人とも医療の第一線で活躍しながら子育てや家事を分担するなかで、「僕はこれ、君がそれ」と決めない方がやりやすかったのだろう。

## どうやら山が好きなようだ!

長身で、ほどよく引き締まった体型。そのことを褒めると謙遜しつつも、体力には自信があるという。高校時代は登山部に所属し、石鎚山を筆頭に四国のほとんどの山を制覇。数年前からは独身時代に楽しんでたゴルフのブームが再来し「山の景色に癒されます」と楽しそう。さらに雪山にも通いスキーは家族共通の趣味。コロナ前は、家族でのスキー旅行が毎年の楽しみだったという。「独身時代は、仕事上がりに久万高原のナイタースキーに毎週のように行っていま

した。うちの子は5、6歳から板をはかせて滑っていましたね」と話しつつ「山が好きなんだな」と独り言のように付け加えた。



## 10年かけて大学を卒業

高3の時、進学先を大学か専門学校かで迷った挙句、手に職をつけたいという理由から大阪の物療専門学校へ進学した竹内副技師長は、39歳の時に大卒資格を取得しようと一念発起。放送大学へ進学した。先述で「決めない」と紹介したが、この挑戦では無理をせず10年で124単位(一般的な大学と同じ)を取ると計画をたて、日常に負担のない形で進めた。「父親の勉強する姿を



見てご家族の反応は?」と問うと、「子どもはあまり見てないかも。小さい頃は寝かせた後や直明けにしていたし、子どもが大きくなったら、みんなが自然とリビングにいたので一緒にいました。勉強は別の時間でしたので」と付け加える。「仲良し家族です」とは、あからさまに言わないタイプと心得たが、淡々と語るエピソードやこぼれる言葉から、

観察力を強みに、  
やるべきことの隙間を  
埋める技術の人

心地よく暮らす家庭での姿が想像できた。

勉強は継続予定で、医療画像情報精度管理士やAi認定診療放射線技師などの資格取得を計画中という。

## 良い画像を提供するために

現在の仕事は、忙しい部署のフォローに入りつつ後輩指導が中心。「自分は50代で新人は20代が中心なので、中堅メンバーに入ってもらい、その中堅メンバーの指導者育成にも力を入れています」。一般撮影、血管撮影、MRIなど多種多様な機器を使いこなし、いかに良い画像を提供するかが放射線技師の腕の見せ所。「放射線技師は、技術だけでなく適切な会話力も大切と僕は考えています。もともと自分から話しかけるタイプではなく、若い頃は話しかけづらいと言われることも多くて。しかし後輩を指導し始めた頃からコミュニケーションをとらないと始まらない。割と試行錯誤しました」と、経験からの言葉だった。

「検査の流れを伝える時も、落ち着いて相手の様子を伺いながら会話をすることで良い撮影・良い画像提供となりそれが最善の治療へつながります。だから技師にはコミュニケーションが大切です」と穏やかに伝えてくれた。

好きな言葉は「真実一路」。「小学校の卒業文集に書いていました。言葉が得意ではないのでばつと浮かんだのがこれ」。真心を込めて仕事に邁進し真実を映してゆく。コミュニケーションを大切にする技師らしい言葉で締めくくった。

